

みずほCustomer Desk Report 2026/01/29 号(As of 2026/01/28)

みずほ銀行 国際為替部

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	152.55 AUD/USD
TKY 9:00AM	152.51	1.2022	183.33	1.3821	0.6996
SYD-NY High	154.04	1.2042	183.53	1.3850	0.7042
SYD-NY Low	152.21	1.1895	182.60	1.3750	0.6977
NY 5:00 PM	153.43	1.1954	183.28	1.3807	0.7041
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	49,015.60	12.19	日本2年債	1.2400%	▲0.0400%
NASDAQ	23,857.45	40.35	日本10年債	2.2300%	▲0.0500%
S&P	6,978.03	▲ 0.57	米国2年債	3.5692%	▲0.0050%
日経平均	53,358.71	25.17	米国5年債	3.8297%	0.0023%
TOPIX	3,535.49	▲ 28.10	米国10年債	4.2462%	0.0040%
シゴ日経先物	53,785.00	855.00	独10年債	2.8524%	▲0.0176%
ロンドンFT	10,154.43	▲ 53.37	英10年債	4.5440%	0.0200%
DAX	24,822.79	▲ 71.65	豪10年債	4.8090%	▲0.0250%
ハンセン指数	27,826.91	699.96	USDJPY 1M Vol	10.18%	▲1.04%
上海総合	4,151.24	11.33	USDJPY 3M Vol	9.44%	▲0.57%
NY金	5,303.60	221.00	USDJPY 6M Vol	9.32%	▲0.36%
WTI	63.21	0.82	USDJPY 1M 25RR	▲2.20%	Yen Call Over
CRB指数	318.90	1.32	EURJPY 3M Vol	8.58%	▲0.84%
ドルインデックス	96.35	0.13	EURJPY 6M Vol	8.61%	▲0.61%

東京	東京時間のドル円は152.51レベルでオープン。スポット末日に伴う実需の買いが先行する展開に153.07まで上昇する場面もあったが、全般的にドルの上値が重い推移が続いた。結局152.65レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円は152.65レベルでオープンし、本日のFOMC会合を控えて市場は静かな動きとなった。ドル円は152.30～152.81の間で推移し、その後152.57レベルでNY時間に渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は朝方にベッセント米財務長官がドル安を誘導する為替介入はにしていないとの発言を受け、連日売られていたドルが買い戻され、153.70付近まで上昇する底堅い推移。午後に行われたFOMCでは、FRBが政策金利を3.50%-3.75%に据え置く事を発表した。同時に発表された声明文では「失業率は安定の兆し」や米経済の改善を指摘する文言が見られ、154.05まで上値を伸ばす。しかし、その後に行われたパウエル議長の記者会見では特段サプライズな発言が見当たらなかったためか、その後は徐々に失速し、153.43レベルでクローズ。一方、ユーロドルは先述のベッセント米財務長官の発言を受け、ドル買いが優勢の中、1.1940付近まで下落する軟調な推移。午後はFOMCの結果発表を受け、一段ドル買いが強まる中、1.1895まで値を下げる。その後は下げ渋り、1.1954レベルでクローズ。

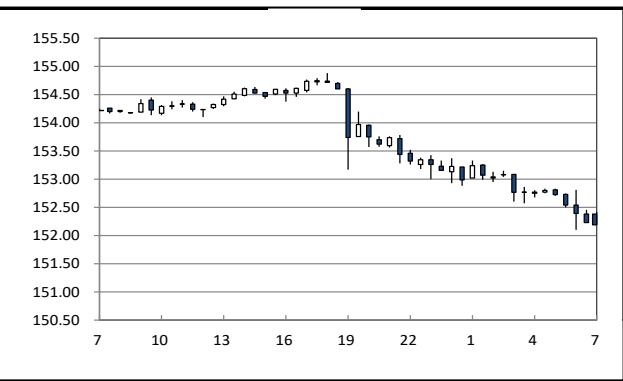
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月28日	09:30	豪 CPI(前年比)	12月 3.8%	3.6%
	09:30	豪 CPIトリム平均値(前年比)	12月 3.3%	3.3%
	09:30	豪 CPI(前期比)	4Q 0.6%	0.6%
	09:30	豪 CPIトリム平均値(前期比/前年比)	4Q 0.9%/3.4%	0.9%/3.3%
1月29日	00:10	米 ベッセント米財務長官 発言	(為替介入は)絶対にしていない	
	04:00	米 FOMC政策金利(上限)	28-Jan 3.75%	3.75%
	04:00	米 FOMC政策金利(下限)	28-Jan 3.50%	3.50%
	04:30	米 パウエルFRB議長 記者会見	経済活動の見通しは明らかに改善	

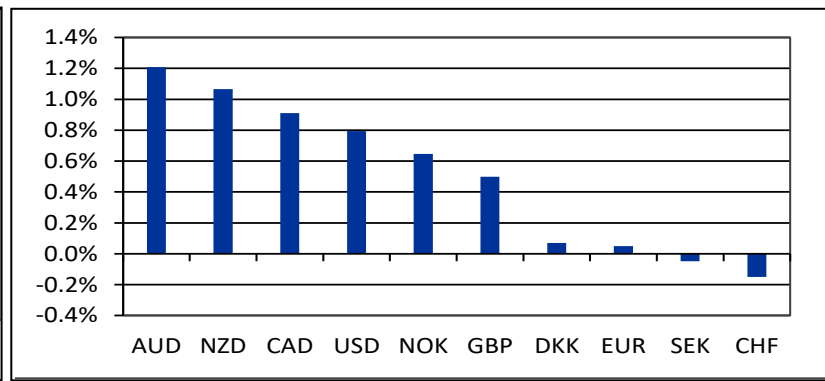
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月29日	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	1月 -8.2	-9.0
	19:00	欧 サービス業信頼感指数	1月 5.9	5.6
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	1月 -	-12.4
	22:30	米 新規失業保険申請件数	24-Jan 205k	200k
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$44.0b	-\$29.4b
1月30日	00:00	米 製造業受注/除輸送(前月比)	11月 1.6%/ー	-1.3%/ー0.2%
	00:00	米 耐久財受注/除輸送用機器(前月比)・確報	11月 -	5.3%/0.5%
	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	11月 0.2%	0.2%
	00:00	米 卸売売上高(前月比)	11月 -0.1%	-0.4%
	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	1月 1.7%/2.2%/2.6%	2.0%/2.3%/2.6%
	08:30	日 失業率	12月 2.6%	2.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.30-155.00	1.1850-1.2000	182.00-184.00

【マーケット・インプレッション】

昨日米FOMCでは予想通り主要政策金利の据え置きを決定。米経済の改善を示した一方、今後の政策調整についてはより慎重な姿勢が確認された。過去3回の声明に盛り込まれていた、雇用に対する下振れリスクの高まりを示す文言が削除され、雇用改善が言及されたことで早期利下げへの期待がやや後退したものの、短期金融市場では年内1～2回の利下げ折込はほぼ変わらずとなった。また、米ベッセント財務長官はCNBCとのインタビューで、「米国は常に強いドル政策を維持している。ドル円相場への米国の介入は絶対にしていない」と発言した。昨日のドル円相場は、ロンドン時間にかけては152円台でもみ合いの展開だったが、米ベッセント財務長官の発言やFOMCの結果を受けて一時154円近辺まで上昇した。本日のドル円は方向性を探る展開となろう。予定していたFOMCを無難に通過し、市場ではドル安・円安の流れは変わっておらず、日米当局に対する介入への警戒も和らぎつつある水準となっており、日中は月末絡みにフローに留意しつつ、ドル円相場は方向性を探る展開となるか。海外時間では、米新規失業保険申請件数や貿易収支などの経済指標が発表予定となっており、結果に留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。